

1 主題構成表

主題名「社会正義」（中学校・第3学年） 資料名「多くの命を救った外交官」（杉原 千畝）

<p>■ 内容項目 C (11) 「公正、公平、社会正義」 正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。</p>	<p>■ 内容項目から見た生徒の実態 (意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰に対しても分け隔てなく接することや、正義の実現に努めようとする人の生き方に憧れがある。</li> <li>不正に気付いても、自ら積極的にやめようとまわりに働きかける意識は弱い。</li> <li>迷いや葛藤を乗り越え、正しいと信じることを貫こうとする意欲に弱さがある。</li> </ul> <p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>面倒なことに巻き込まれたくないなど、自己の利害を優先に考えてしまう。</li> <li>これまでの慣習や多数の意見に対して立ち止まって考えることが少ない。</li> <li>正義を重んじることで得られる自他の喜びや達成感を味わった経験が少ない。</li> </ul>	<p>■ 資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本資料には、リトアニアの日本領事館に勤めていた杉原千畝が、迫害を受けていた多くのユダヤ人の命を救うために、外務省の命令に背いて、日本行きのビザを発行するに至る心の葛藤と決断、その後の生き方が描かれている。</li> <li>ユダヤの人たちを見放すことはできないとビザを発行した千畝の生き方を考えることを通して、人間として正しいと信じることを実践することの尊さに気付くことができる資料である。</li> <li>ビザを発行することに迷う千畝の思いを考えることで、正しいと信じることで、自分が不利な状況になると、実践することに難しさが生じるという人間の弱さに共感することができる。</li> <li>後年の千畝の思いを考えることを通して、人として正しいと信じることを実践することの尊さに気づき、自らも進んで実践しようとする意欲を育むことができる。</li> </ul>
<p>■ ねらい 誰もがよりよく生きる社会を実現するには、たとえ少数であっても、人として正しいと信じたことを実践しようとするのが大切であることに気づき、身のまわりの不正や不条理なことに見て見ぬふりをせず、自ら解決に向けて行動しようとする意欲を育む。</p>		
<p>■ 展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国の規則を破っても社会の正義を貫きたいという千畝の生き方を捉えられるようにする。</li> <li>「自分が千畝の立場だったら、ビザを発行するかどうか」について考え、人間の弱さや尊さに共感し人間理解を深められるようにする。</li> <li>千畝がビザを発行することを決断した理由を考えることを通して、自分の利害よりも人間として正しいと信じることを実践することを選んだことに気付けるようにする。また、後年、自分の行いが広く認められた時の千畝の気持ちを考えることを通して、人として正しいと信じることを実践することができるようにする。</li> <li>日常生活の中で正義を大切に生きるには、どうしたらよいかについて考えられるようにする。</li> </ul>	<p>■ 基本発問（◎中心発問）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ビザを発行することを決断した千畝について、どう思うか。</li> <li>○自分が千畝の立場だったら、ビザを発行するだろうか。</li> <li>◎千畝がビザを発行することを決断したのは、どういう理由からだろうか。</li> <li>○正義を大切に生活するには、どうしたらよいだろう。</li> </ul>	
<p>■ 「私たちの道徳」の活用（<u>授業前</u>・授業中・授業後・活用しない） （活用の仕方）正義感についてのアンケート結果（P162）から、これまでの自分自身の生活を振り返りまとめておく。授業の導入で使用する。</p>		